

顔認証を使ってユニークでインタラクティブな体験を実現

米国サッカー殿堂様

課題背景

- 最新技術を活用し、来場者が体験しながら展示を楽しめる場としたい
- 展示物を並べるだけでなく、その世界に入り込めるような画期的な展示としたい
- 世代関係なく、ストレスフリーに体験できる空間を実現したい

導入ソリューション

NEC顔認証AIエンジン「Neo Face」

- 施設内にある10点以上の多岐に渡る展示ブースをシステム統合
- 安全、迅速かつ来場者一人ひとりに合わせたサービスを実現
- 約50機のカメラに組み込み、来場者を瞬時に認識し、本人の好みに合わせた展示コンテンツを提供

成果

- 館内の目玉として年間200万人の来場者数増加をけん引
- 来場者一人ひとりに合わせた体験を提供できる博物館として、他スポーツ・娯楽施設との差別化に成功
- 米国博物館協会（*1）より革新的な展示事例として賞（*2）を受賞

（*1） the American Alliance of Museums Media and Technology Networks

（*2） Gold Muse Award for Research and Innovation

はじめに

米国サッカー殿堂「National Soccer Hall of Fame（以下 NSHOF）」は、2018 年にテキサス州を本拠地とするサッカーチーム FC ダラスが 5500 万ドル（約 59 億円）をかけトヨタ・スタジアムをリノベーションした際に併設オープンした博物館です。本施設では、NEC とのパートナーシップのもと、VR（バーチャルリアリティ）やジェスチャー・テクノロジーを搭載した大型タッチスクリーンを至る所に設置し、米国サッカーの歴史を称賛しながら、これまでにない体験型の世界を演出しています。NEC の顔認証技術の導入により、米国サッカーの歴史を現代に蘇らせたことで、魅力をさらに引き出し、ファンにより愛着をもってもらえる場を提供しています。

導入の背景や課題

博物館での新しい体験を提供したい



NSHOF取締役
ショーン・ブーホルツ氏

米国サッカー殿堂は、米国サッカーを一般的な展示ではなく、前例のない画期的な方法で紹介したいと考えていました。そのためには、殿堂入りした歴代の選手に敬意を払うことはもちろん、次世代のテクノロジーを活用することも必須だと考えました。「館内をいかにインタラクティブな空間にできるかが決め手になる、と企画当初から話していました」と NSHOF 取締役のショーン・ブーホルツ氏は語ります。背景に

は、「心から楽しめる場所にしたい」という思いが大きかったからだといいます。「来場者には、サッカーの歴史がわかる 400 点もの素晴らしい展示物を見るだけでなく、その世界に入り込んでもらいたい。実際に来て、ゲームで対戦して、楽しんでいただきたいのです。」また、FC ダラスの広報部長 ジーナ・ミラー氏は各展示コーナーをスムーズに体験できることも欠かせなかったと語ります。「顔認証技術の提案を受けた後も、カメラの設置場所等、来場者が顔認証されていることを意識しないで楽しめることを第一に考え、工夫する必要がありました。」



FCダラス
広報部長



ソリューション

顔認証を活用し、来場者の好みに合わせた体験を提供

このような課題を解決するため、テクノロジーパートナーを NEC に決めるのは自然な流れだったとブーホルツ氏は語ります。「NEC を選んだのは、世界で最も素晴らしい顔認証技術（※）を持っていたからです。」その NEC の顔認証 AI エンジン「NeoFace」を導入し、従来の博物館と一線を画したユニークな体験作りに取り組みました。



館内では、約 50 台のカメラを設置し、来場者の許可を得て顔を認識します。「館内に入ると、まずタブレット上で好きなチームやポジション等簡単な質問に答えていただき、写真を撮ります。するとシステムに登録され、各展示コーナーですぐにその人を識別できるようになるのです。」と NEC アメリカの戦略企画部長 ケン・ウィルソン氏は説明します。巨大なタッチスクリーンに VR とジェスチャー・テクノロジーが搭載された 13 種のオーディオ・ビジュアル展示は、来場者が近づくと瞬時に認識します。すると来場者は、名前を入力や細かな設定をせずとも、好みの設定でゲームに参加したり、スコアを記録したり、他来場者との対戦ができます。また、後で自分用にカスタマイズされたウェブサイトへアクセスし、館内のフォトスポットで撮影した写真や VR 体験の思い出を SNS でシェアすることもできます。



この取り組みは、NEC の顔認証技術が、従来のセキュリティ目的のみならず、顧客体験（カスタマー・エクスペリエンス）向上にも貢献した一例となりました。「館内で NeoFace を体験した方々の反応を見られるのは非常に嬉しいです。自分の顔アイコンと、好みのコンテンツが飛び出ると、皆さん驚かれます。」とウィルソン氏は話します。



導入後の成果

これまでにない感動体験が味わえる施設に



FCダラス オーナー
ダン・ハント氏

2018 年にオープンして以来、併設するトヨタ・スタジアムには年約 200 万人が訪れます。FCダラスのオーナーであるダン・ハント氏は、NEC は博物館の新たな道を切り開いたと語ります。「すでに 10 件以上の博物館やスポーツ殿堂から問い合わせがありました。」ハント氏は、他にはない特徴を持つことが、スタジアム自体の来場者を増やす上で重要だと考えています。「この取り組みこそが来場者の増加をけん

引し、さらに多くの方に来ていただけるだろうと期待しています。」

米国サッカー殿堂が NEC と連携して顔認証技術を導入したことで、博物館での体験は一変しました。これまで一度も実現されなかった体験型の空間を作り出したのです。来場者は米国サッカー殿堂でしか味わえない体験を満喫しているとミラー氏は言います。「来場者の方々の反応は、ただただ「すごい！」という驚きです。」

ブーホルツ氏も同様に話します。「誰も成しえなかったことを実現できたこと、そして殿堂入りした選手に囲まれ、最新のテクノロジーに感動するお客様を見られることが、何よりの幸せです。」

お客様プロフィール

米国サッカー殿堂様

所在地 : 米国テキサス州フリスコ市

会長 : ダグラス・ウィリーズ

設立年 : 1979年

FCダラス、米国テキサス州フリスコ市、フリスコ独立教育学区および米国サッカー連盟との官民パートナーシップによって設立